

旧 JR 国立駅舎のいま

駅と街づくりを考える

春我部防衛小隊

<ごあいさつ>

みなさん、はじめまして。今年学院に入学、鉄研に新加入しました。鉄研に入るくらいだからさぞかし鉄道に詳しいのだろう、とみなさんお思いでしょうが、実は僕は鉄道にそこまで興味を持ってはいませんし、それほど知識もありません。どちらかと言うと戦闘機や軍艦に興味があるくらいです。そのため、今回の部誌は特定の車両考察など突っ込んだものではなく、「JR 国立駅」とその街づくりについて執筆しました。

<1. 国立市>

国立駅は、東京都国立市にある JR 中央本線（中央線快速）の駅です。隣接する駅は、西が立川駅、東が西国分寺駅です（東に国分寺市、西に立川市があるので一文字ずつ取って「国立市」と命名されたそうです）。また、国立駅を最寄りとする場所は以下にあげる通りです。

- ・ 国立一橋大学
- ・ 国立音楽大学附属高校
- ・ 東京都立国立高校
- ・ 私立桐朋高校
- ・ 東京都立第五商業高等学校
- ・ 鉄道総合技術研究所、など

国立駅周辺には、教育関係の施設が多く、またこれらのほとんどは、国立駅から南にのびる、通称「**大学通り**」沿いにあります。この道は幅がとても広く、また春には桜が咲きにぎわう大通りとして知られています。この地域も、かつては高層マンションなども立っておらず（国立市では、高層マンションが景観を乱すとして訴訟問題にまで発展している）、次項で記述する「赤い三角屋根の駅舎」とマッチして都会のわりにはのどかなところだったといえます。

< 2. 国立駅舎移転問題 >

国立には2006年まで「赤い三角屋根の駅舎」が南口に存在しました。(以降「旧国立駅舎」と称します。)

これは大正時代に建てられた駅舎ですが、補修を加えられながら約80年もの間使われてきました。

しかし、中央線快速の高架化計画(国立～立川間の連続立体交差事業)がもちあがり、その工事の際に邪魔になるということでJR東日本は駅舎の解体・撤去を決定してしまったのです。

当時旧国立駅舎は都内で2番目に古い木造建築の駅舎で歴史的にも文化的にも貴重なものでした。

市などは保存を持ちかけましたが、JR自体は応じず、解体・撤去は2006年10月に始まり、年内にほぼ完了しました。その後、部材は市が保管しています。

ちなみに旧国立駅舎は国立市の有形文化財に指定されています。

その主な理由は以下の通りです(国立市ホームページより抜粋)。

1. 三角屋根の強い個性の意匠をもち、大正期木造駅舎としての希少価値が高い。
2. 大正期の国立学園都市計画の中で国立駅舎が重要な位置付けがあった歴史的環境。
3. 基本的な構造、いわゆる軸組み、小屋組みがよく残っている。
4. 明治期から大正期にかけての典型的な構造技法であるキングポストトラス等、技法的、技術的に重要である。

1. に挙げられているのは、旧国立駅舎の独特なかたちです。旧国立駅舎は木造の1階建てで、正面の入口にロマネスク風(ヨーロッパに初めて大学が生まれた頃の建築を模した)アーチ状の窓が付いています。一度見た方にはお分かり頂けるでしょうが、どこか都会離れた外国のような雰囲気醸し出しているのです。
2. に挙げられているのは、旧国立駅舎の歴史的背景です。国立市は欧米の田園都市をもとに作られています。南口ロータリーには、5本の道路がつながっています。その一つの大学通りに面する一橋大学(当時誘致した東京商科大学)が市の中央に配置され、駅と向かい合うかたちで街が作られて

います。これは国立市を学園都市化する当時の考えに基づいたものです。また、そのためかこの駅は民間が建設して鉄道省に寄付されました（請願駅といいます）。

3. に挙げられているのは、改修を加えられながらもほぼ原形を最後までとどめていたことです。張り出しの撤去やコンコース確保のための拡張などは行われていましたが、かたちは残っていたのです。また、各部に古レールが使われ、その種類は**9社16種類**あったそうです（外国製のもありました）。
4. に挙げられているのは、建築当時の技術が覗えることです。大正時代の骨組みが解体時に出てきたといいます。

この国立駅を中心に「**学園都市国立**」は発展を遂げたのでした。旧国立駅は文化財としてだけでなく、建設の段階で景観にも配慮したことにより都会には珍しい**街との一体感**を生み出しもしました。都心にありきたりな鉄筋コンクリート建築にはない温かみがこの駅にはあったのです。そういった意味で、この旧国立駅舎はこの地域の大きな財産だと思っています。

保存会は現在駅舎の部材を保管し、工事終了後にほぼ元の場所に戻す（木造で復原する）そうですが、具体的なめどはまだ立っていません（一応平成27、28年度とは言われていますが…）。

< 3. 国立駅前広場 >

何回も書いたように、国立市は国立駅とそれにつながる大学通り沿いに学校等施設がおかれ、都内には珍しい街構造となっていました。普通の大通りは駅と交差する形でのびていますが、大学通りは違いました。駅を起点に南側にのびていたのです。つまり**大学通りを国立駅に向けて北上すると、駅の北側に出ることなくロータリーで行き止まり**となってしまうのです。中央線近辺の駅は多くが高架化されており、大通りが駅で途切れてしまうということは殆どありません。また、高架化されていない駅でも大通りは駅に並行だったり、立体交差になっていたりしています。ちなみに大学通りは2線2線の4車線で、自転車用通路もあるなどかなり広めの通りになっています。

利用者にとっては不便かもしれませんが、何しろ**国立の街が鉄道で分断**されてしまっているのですから。しかし、当初からこの構造にすることは決定事項だったようです（もちろん戦後復興や再開発で変わったところもあると思いますが…）。そのためか、国立市は僕が見る限りでは北と南でだいぶ雰囲気違います。

駅前ロータリーには5本もの道路が放射状になって配置されています。その中央には丸い形をした広場があります（撤去されたのは駅舎のみで、他はそのまま残っています）。当時は池などがあり、人を集めるための工夫が凝らされていたそうです。

このことから言えるのは、いろいろな方向に向かう車や人が国立駅前で交差するという事ではないでしょうか。なぜ道路が放射状にのびているかまでは分からなかったのですが、これもやはり学園都市計画の時点で決定事項でした。このような街計画のおかげで、人の心が「より豊かだった頃」にはとても賑わい、独特の街コミュニティが形成されていたそうです。

< 4. 近年の問題 >

旧国立駅舎は市民に愛されながらも、少しずつ時代の波についていけなくなってしまったように思います。

主な理由は以下の通りです。

- 1：景観が駅舎に合うものではなくなった。
- 2：人々の地域コミュニティに対する意識が変わりつつある。

広場は立ち入り禁止になってしまい、そこには植物が植えられ、大学通りから駅舎が見づらくなってしまいました。さらに駅前に溜まる人たちも少なくなり、国立駅は人が集う駅でなく人が通り過ぎる駅になってしまいました。追い打ちをかけるように高層マンションが建設され、国立市は高層建築が乱立する街になりました。

このような開発のおかげで景観は破壊されレトロな赤い三角屋根はもはや映えなくなり始めたのです。

北にも南にもマンション（これらのマンションの一部は周辺住民の日照権を侵害しています。また学園都市としての景観を著しく乱しています。裁判ではマンションは合法とされたものの、これらが国立のイメージを損ねているのは間違いないと思うので、敢えてこういった表現にしました）が建っていて、駅はまるで谷のようになってしまいました。

< 5. 理想の街づくり >

国立駅前が再びかつての賑わいを取り戻すには、駅舎、広場、大学通りの改善が必要と思われます。

1. 駅舎

旧国立駅舎を元の場所に戻すことが課題。市民からは不必要との声も一部上がっているようですが、僕はやはり鉄筋コンクリートより木造のほうが温かみがあっていいと思います。ここは JR 東日本と保存会の方に任せるしかないのでしょうか。

2. 広場

円形広場内に人が立ち入れるようにしたり、駅舎が大学通りから見られるように植栽を工夫したりと、実はやることがとても多いように思えます。広場が活性化することで街にも活気があふれてきます。景観を維持するためにも絶対になくてはならないものです。

3. 大学通り

学生が多く通るこの道の歩道には溜まり場がありますが、そこから駅舎は見えません。駅舎が見える位置に人が溜まることによって、地元での一体感がより生まれます。街路樹は殆どが桜の木です。

最も良い見え方は、やはり大学通りから眺めた時のものでしょう。大学通りから緑と国立の顔が見えるようになってほしいものです。

<6. まとめ>

僕のまとめ方が下手なせいでよく分からなかった方もいると思います（ごめんなさい…）。

ただ、これだけ言っておきたいのは、

鉄道はただの交通手段だが、駅舎やその駅前広場はその街の個性を

表わした、いわゆる「街の顔」であって、本来は鉄道客だけでなく

て地域の人が集うところである。特に国立には大学通りと貴重な赤

い三角屋根の駅舎があり、国立の歴史や個性をよく表わしているの

で、このような景観を壊してよいのかには疑問がある。

ということです。

これで多少なりとも鉄道駅と街づくりの関わりについて分かっていただけでしょうか。最後までこの稚拙な文章をお読みくださり、ありがとうございました。

<7. おわりに>

本日は第 62 回学院祭にお越しいただき、ありがとうございました。
来年度のご来場、お待ちしております。

参考文献

東京都国立市ホームページ

東京都国立市；国立駅周辺プラン報告書

国立中央図書館；くにたちしらべ vol. 1（2008 年）

国立の達人：国立駅・大学通り

以上。

僕の知識不足により、一部不適切な表現や間違いがあると思われます。軽く読み流していただければ幸いです。また、この記載内容に関する JR 東日本などへのお問い合わせは申し訳ありませんがお止めいただくようお願い申し上げます。